

平成24年2月

村田暁彦 学位論文審査要旨

主査 佐藤 建三
副査 竹内 隆
同 林 眞一

主論文

A Notch ligand, Delta-like 1 functions as an adhesion molecule for mast cells
(Notchリガンド、Delta-like 1はマスト細胞の接着分子として機能する)

(著者：村田暁彦、奥山一生、坂野誠治、加治木正洋、平田朝久、八木田秀雄、

Juan Carlos Zúñiga-Pflücker、三宅健介、高村祥子（旧姓：赤司）、森脇佐和子、
新飯田俊平、吉野三也、林眞一)

平成22年 The Journal of Immunology 185巻 3905頁～3912頁

審査結果の要旨

本研究は、NotchリガンドであるD111を強制発現したOP9間質細胞(OP9-DL1)を用いて、Notchのmast細胞の接着への関与を検討したものである。その結果、mast細胞の接着がD111存在下で亢進すること、更に接着の亢進にはNotchシグナルは全く関与しておらず、Notch2/D111の結合を競合阻害した時にのみ阻害される事が示された。よって、シグナル分子としての機能のみが知られていたNotchに、接着分子としてmast細胞の接着を促進する機能があることが明らかにされた。本論文の内容は、炎症組織へのmast細胞の集積にNotchが接着分子として関与する事を示唆するものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。